

平成30年度第1回函館市地球温暖化対策地域推進協議会 会議概要

- 1 日 時 平成30年4月26日(木) 午後1時30分～2時30分
- 2 場 所 函館市環境部4階大会議室
- 3 出席者 委員(19人 ※内代理出席2人)
佐藤不二子委員, 佐々木香委員代理・小谷野千代子氏, 陳有崎委員, 松本怜委員, 高橋泰助委員, 荒井隆幸委員, 渡部浩典委員, 砂原壮吉委員, 辻廣孝司委員, 若松栄委員, 千葉隆芳委員, 松原仁委員, 伊藤聡委員代理・中川希望氏, 山本渉委員, 山村織生委員, 安達幹彦委員, 池田誠委員, 松本伸委員, 對馬公彦委員
事務局(5人)
事務局長 進藤昭彦(環境部環境総務課長)
事務局員 橋本健二(同課主査), 福田誠(同課主査), 佐藤弘康(同課主任), 上野沙耶(同課主事)
- 4 傍聴者 なし(随行者2人(渡島総合振興局保健環境部環境生活課))
- 5 発言要旨

(1) 開会

- ・会長挨拶
(松原会長)

会長を務めている公立はこだて未来大学の松原です。

専門は人工知能で、応用としてお客様に優しい公共交通機関を研究し、ベンチャー会社もつくっています。車の数を減らすことは、環境問題・温暖化対策に繋がり、その関係で、本協議会との関連があります。

環境問題は大事な問題で、国・自治体で解決に向け進めていますが、市民の私たちが、何かできることを考えるためにこの会があります。

函館の温暖化に関しては、この冬、雪が多かったことも、気象学者の見解では温暖化が影響しているとのことで、どこか他の地域が暖かくなり空気が流れが変わり、函館で大雪となったとのことです。今後も大雪が続くと除雪や悪路等で市民生活にとっては深刻な問題となります。

桜の開花宣言もありましたが、函館では例年、連休の後半に咲くか・咲かないかでしたが、近年では連休前半で咲き、後半は散ってしまう状況です。早く暖かくなるのは温暖化の影響です。

ここしばらくの状況ですが、海水温が上がりこれまで捕れていた魚が捕れなくなり、特に鮭・イカが減り、今まで捕れなかったブリだけが揚がっています。温暖化だけの影響ではないでしょうが、海水の温度の分布が変わり、函館の近海にイカがいなくなってしまったのは事実です。

函館にとっても温暖化の影響はいろいろな面で現れていますが、私たちから次の世代また次の世代へと住みよい函館を残していくためには、環境問題・温暖化問題を考えることは大切だと思います。

委員の皆様はお忙しいとは存じますがご協力をお願いします。

- ・事務局から名簿順に出席委員を紹介
- ・事務局長から事務局員を紹介

(2) 議事

- ① 協議会規約の改正報告について
- ② 平成29年度事業報告について

- ・事務局から報告事項①協議会規約の改正報告について、資料1により報告
- ・事務局から報告事項②平成29年度事業報告について、資料2～資料4により報告

(松原会長)

①の協議会規約の改正については、会社の名称が変更したことにより規約を改正したものです。

②の平成29年度事業報告について、質問やご意見はありますか。

今年から、資料4により函館市の温室効果ガスの排出状況の説明がありましたが、2011年度から排出量が増加したのは原子力発電所が停止していることが影響しています。近年は減少していますが、減少する原因が経済の不況や人口が減少したことから下がっているのは函館にとってうれしいことではなく、見方を変えれば1人当たりの温室効果ガス排出量が減少することが望ましいと思います。

(小谷野氏)

ノーマイカーデーには、私たちの団体も参加しています。

ノーマイカーデーの実施状況について、参加者人数は目標に達成しているのですか。

車の利用について、産業・業務に係る車の利用を減らすのは大変ですから、個人の車の使用を減らすことが頼りになると考えます。函館市内の車の台数から、この参加者数で良いのですか。

(事務局)

参加者数の目標数は定めてはいません。

あくまでこの事業は、マイカー利用を控え、公共交通機関等への移動手段を転換するためのきっかけづくりとして実施しています。何名の参加者で市内の車の台数をどこまで削減する等の目標を決めているものではありません。

この事業を実施することで、1人でも多くの市民の方に地球温暖化対策に興味を持ってもらい、移動手段の転換が図られるようPRに努めてまいります。

(小谷野氏)

実施期間を1週間と限定していますが、常に市民にマイカー利用を控えるよう周知するポスター・ステッカー等を掲示するなど考えてみてはどうでしょうか。

(高橋副会長)

ノーマイカーデー事業については、事業開始当初の135人から昨年度は643人で約5倍になっています。今年は少なくとも1千人を目標としたい。

期間も昨年の会議で、9月の1週間を実施する旨進めているので、期間を限定しての実施で皆様のご協力をお願いしたい。

この事業は、本協議会の全体で、協働してできる事業ですから、委員の皆様の協力でも、まず1千人を目標とし、次は1万人の大台としたい。

(松原会長)

参加者については、26万人の街で600人の参加はどうかとは思いますが。

2・3年前から健康をテーマに打ち出して、健康づくりのために歩きましょう・自転車に乗りましょうとの呼びかけもしています。参加者を増やすための色々な切り口で行っています。

また、函館で車を運転しない人にとって公共交通機関がいかに使いづらいかを、この事業に参加した人が改めて感じてもらうことを通じて、本来の事業の趣旨とは違う

副産物ではありますが、公共交通機関のあり方を考えてもらうきっかけとなり、まちとして公共交通をどうするのかを考えるうえで大切な事だと思います。

地道に参加者も増加しており、1千人の参加から、1万人の参加になれば大きなプロジェクトとして実施できると思います。

事業の宣伝は、FMいるかでの放送や手作りのポスターの掲示はお願いしていますが、ほかにアイデアはありませんか。

(池田委員)

公共交通機関の不便については、松原会長の研究である交通システム、しくみづくりで変えられると思います。

最近ジョギング、マラソンの人気があり、健康ブームであるのでそれに引っかけた事業展開をしてみてもどうでしょうか。私がマラソンに参加するのでクラウドファンディングで応援してくださいみたいに、はこだてノーマイカーデーの参加者を1千人・1万人と大きな目標を立て、これを達成するためにクラウドファンディングしましょうと呼びかけをして、楽しく事業に参加するというのはどうでしょうか。

(松原会長)

クラウドファンディングは面白いですね。活動の資金も得られるし、有名な人に走ってもらうと注目されますね。iPS細胞の中山伸弥教授も研究資金集めのためにマラソンに参加してクラウドファンディングをやっています。参考になると思います。

ほかに質問や意見はございますか。

ないようですので、報告事項の規約の改正と平成29年度事業報告はお認めいただきました。

次に、議題③平成30年度事業計画(案)について事務局から説明をお願いします。

- ・事務局から協議事項③平成30年度事業計画(案)について、資料5により説明

(松原会長)

平成30年度事業計画(案)について質問やご意見はございませんか。

(高橋副会長)

北海道クール・アースディの取組として、ガイアナイトの取組もいいが、そもそも七夕は星を見る日、夜空の星を見上げることを提案してもいいのではないのでしょうか。函館市全体をライトダウンして夜空には満点の星、いつもと違う夜景、星空とのコントラストが演出できるのではないのでしょうか。夜景のPRになると思います。以前には青年会議所で夜景の日(8月13日)のイベントを行っていましたが、新しい星空と夜景ができればいいのではとの検討事項の提案です。

(松原会長)

実現は難しいと思いますが、おもしろい企画だと思います。未来大学の迎山教授がつくった持ち運べるプラネタリウムがあり、人工的に星空を見ることもできます。何かできるか検討してみてもどうでしょうか。

今年度のノーマイカーデーについては、サービスの充実を検討していただきたいと思います。函館バスさんでは、これまでの特典である磁気カード(バスカード)が無

くなったことから、特典付きの定期券の発売を検討しているとの事務局からの説明もありましたが、参加者へのサービス・特典が充実すると参加者も増える傾向にあるのでより一層の検討をお願いします。実施時期は、過去に10月に実施したこともありますが、自転車等での移動では寒いとの意見、また夏の暑い時期を避けてとのこともあり、この9月実施となった経過があります。

他にご意見がなければ、「平成30年度事業計画」は承認いただいでよろしいですか。

(全委員)

異議なし。

(松原会長)

異議がないようですので、「平成30年度事業計画」は承認されました。

最後にその他について、委員の皆様から何かありますか。

事務局から何かありますか。

(事務局)

本日ご承認いただいた平成30年度の活動につきましては、皆様のご意見を配慮して進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

今年初めて開催します「事業者向け省エネセミナー」につきましては、詳細が決まり次第ご案内しますので、それぞれの団体を構成する事業所への周知をお願いします。

なお、委員の皆様からの新たな事業提案などにつきましては、随時受け付けておりますので、事務局までご連絡をお願いします。

(松原会長)

個別事業の部会として、現在はノーマイカーデーですが、以前は夜景についての部会もあり、LED化で省エネを図り、明るさをどう出すか等を検討しました。函館らしい部会のご提案があれば事務局までご連絡をお願いします。

以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。皆様ご協力ありがとうございました。

(3) 閉会